国鉄在職時における職務内容自認書

(JR各社へ就職された方は、JR移行後の職務内容を含む。)

氏名	ふりがな	こく	てつ	いち	ろう
		国	鉄	一	郎
現住所	〒 123-4567 東京都〇〇区〇〇1-2-3				
電話番号	自宅 03 (4567) 1234 携帯 090 (1234) 5678				
生年月日	大正・昭和 34 年 5 月 6 日 生まれ				
国鉄就職年月日 就職時勤務箇所	昭和 53 年 4 月 1 日就職	就職時 勤務箇所名	〇〇鉄道管理局〇〇工場		
国鉄退職年月日 退職時勤務箇所	昭和 62 年 3 月 31 日退職	退職時 勤務箇所名	〇〇鉄道管理局▲▲工場		
国鉄(国鉄清算事業団を含む)の退職年月日等に関する注意事項 引き続きJRに勤務した場合は、国鉄退職年月日は、昭和62年3月31日またはJR勤務の前日になります。 また、退職時の勤務箇所も昭和62年3月31日またはJR勤務の前日に所属していた勤務箇所となります。					
※石綿の業務の頻度	(業務一回あたりの時間: 4時間、頻度: 毎日 / 週・月 5回)				
従事期間 (勤務した期間の始期) (勤務した期間の終期)	勤務箇所名		勤務時の職名		
	石綿業務の作業内容 (業務で取り扱った石綿を含むものの名称及び業務内容を具体的に記述してください。)				
昭和 53 年 4 月 1 日から 昭和 58 年 9 月 30 日まで	勤務箇所名(1)	〇〇工場	当時の職名(1)	〇〇係	
	●●工場で、気動車及び客車の解体や修繕を行っていた時に、断熱材として使われていた石綿布の取り付けや取り外す作業を行っていた。				
昭和 58 年 10 月 1 日から 昭和 62 年 3 月 31 日まで	勤務箇所名(2)	▲▲工場	当時の職名(2)	▲▲係	
	▲▲工場で、気動車の交番検査の際に、排気管に石綿が含まれた包帯状の白い布を巻き直したり、排気管が高温になるため変色したものを剥がすのに石綿粉じんが舞う環境の中で作業を行っていた。 <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;">1. どのように 2. どのような作業を行っていたか 3. 石綿が含まれたものとはどのようなものを使っていたか 4. どのような状況や環境等であったか ※上記1~4を含む内容で、簡潔に記入して下さい。</div>				
JR各社へ就職した方へ 【JRに就職された以降の石綿使用状況について記載してください】	勤務箇所名(3)		当時の職名(3)		
昭和 年 月 日から 年 月 日まで					

国鉄在職時における職務内容自認書

(JR各社へ就職された方は、JR移行後の職務内容を含む。)

氏 名	ふりがな		
現 住 所	〒 -		
電話番号	自宅 () 携帯 ()		
生 年 月 日	大正・昭和 年 月 日 生まれ		
国鉄就職年月日 就職時勤務箇所	昭和 年 月 日就職	就職時 勤務箇所名	
国鉄退職年月日 退職時勤務箇所	昭和 年 月 日退職	退職時 勤務箇所名	
<p>国鉄（国鉄清算事業団を含む）の退職年月日等に関する注意事項 引き続きJRに勤務した場合は、国鉄退職年月日は、昭和62年3月31日またはJR勤務の前日になります。 また、退職時の勤務箇所も昭和62年3月31日またはJR勤務の前日に所属していた勤務箇所となります。</p>			
※石綿の業務の頻度	（業務一回あたりの時間： 時間、頻度： 毎日 / 週・月 回）		
従事期間 (勤務した期間の始期) (勤務した期間の終期)	勤務箇所名	勤務時の職名	
	石綿業務の作業内容 (業務で取り扱った石綿を含むものの名称及び業務内容を具体的に記述してください。)		
昭和 年 月 日から 昭和 年 月 日まで	勤務箇所名(1)	当時の職名(1)	
昭和 年 月 日から 昭和 年 月 日まで	勤務箇所名(2)	当時の職名(2)	
JR各社へ就職した方 【JRに就職された以降の石綿使用状況について記載してください。】 昭和 年 月 日から 年 月 日まで	勤務箇所名(3)	当時の職名(3)	